

## 「クリーンファイター」ご利用者様・販売店の皆様へ

2020年6月5日

株式会社 石橋  
常務取締役 石橋 理樹

平素は、弊社の除菌・消臭剤「クリーンファイター」をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。  
このたび、新型コロナウイルスに対する次亜塩素酸水の有効性などについて、NITE（独立行政法人 製品評価技術基盤機構）より中間報告（5月29日）がありました。NITEからの情報は、現時点での中間報告であり、今後正確な見解が示されることになっておりますが、その内容を受けての報道などで情報が錯綜しておりますので、クリーンファイター製造・販売者として、現時点での弊社の見解をお伝えいたします。

### 《NITE（製品評価技術基盤機構）より中間報告概要》

NITEは、次亜塩素酸水の新型コロナウイルスへの有効性や使用方法について、現時点での中間報告をまとめました。

弊社の見解では、以下の4点が現時点での要点になっていると考えます。

1. 次亜塩素酸水といっても、様々な製造方法や製品が存在しており、その有効性は「残留塩素濃度 (ppm)」と「酸性度 (pH)」が指標となるが、そもそも、(※) 販売や使用において重要かつ必要な情報を公表せずに、販売している商品も少なくない。  
※原材料、製造方法、有効塩素濃度、酸性度、使用方法（希釈方法）、製造日、使用期限、濃度の低減など
2. 除菌効果や安全性に対しての自社検査や、検査結果の公開を行っていない製品もある。（効果や安全性へ根拠が不明確）
3. NITEによる現段階での検証では、新型コロナウイルスへ有効性が確認（立証）できなかった。（実験結果に一貫性がなく、引き続き検証を継続する）
4. 有人空間における空間噴霧について、安全性が確約されているような表記をして、販売する例がある

### 《弊社の現時点での見解》

上記（2.の自社検査）につきまして、クリーンファイターは自社製造であり、富山県立大学をはじめ、複数の研究機関や検査機関の協力のもと、品質検査を行っており、ホームページやパンフレットなどに開示しておりますので、ご安心ください。

上記（1.の情報の公開）につきましても、ホームページ、パンフレット、販売商品などに、積極的に情報発信をしておりましたが、不足していた部分もあったと反省しております。再度、お客様に安心してご購入・ご使用いただくために必要な情報を、お客様の視点になって考え、様々な手段を活用しながら、これまで以上に正確に公開・発信してまいります。

上記（3.の新型コロナウイルスへの効果）につきまして、弊社では、クリーンファイターのインフルエンザやノロウイルス、各種食中毒菌などによる有効性の検証結果より、「新型コロナウイルスにも除菌効果があるのでは

ないか」との観点から、除菌剤として販売しております。

NITA の中間報告では、「現時点（5月29日）ではコロナウイルス効果は確認されていない（今後も継続して検証を進める）」とのことであり、当初報道機関による「新型コロナウイルスに効果なし」という報道は、訂正されています。

また、先日（6月2日）、北海道大学の検証結果の報告では、「次亜塩素酸水が新型コロナウイルスを不活性化させた」との発表がありました。

多くのウイルス研究者や関係者が、その可能性を示唆していただいておりますので、弊社としても今後の検証結果に期待するとともに、お客様へ最新情報の発信を、迅速に行ってまいります。

上記（4. 空間噴霧）につきましては、弊社では次亜塩素酸水の各種安全データと、新型コロナウイルスの特性を考え、超音波加湿器を用いての空間噴霧を除菌方法として紹介してまいりました。

NITE の現時点での見解では、空間噴霧により確実な安全性は保障されていないと、長時間の噴霧に対しての警鐘がされております。

現時点で確実な安全性が担保されていない以上、お客様に利用方法の一例として紹介するべきではありませんでした。これまでの紹介を訂正し、心よりお詫びいたします。

NITE のホームページには、商品記載についての細かい指導がありました。

これまで弊社として、お客様に正確に開示できていなかった点もございますので、[ファイル](#)にて公開いたします。

なお、NITE の指摘する基準には、弊社クリーンファイターは、すべてクリアしているとの見解です。

手指への使用について、NITE のホームページには、手指への使用の危険性は表示されていないものの、薬機法違反の可能性がある」と表記されています。

次亜塩素酸水は、食品製造の分野では、食品の除菌剤として長く使われてきたものであり、手指への使用も禁止されていません。

弊社では、消毒＝薬機法、除菌＝雑品で除外と考えてきましたが、疑いの部分については、今後、次亜塩素酸水学会の学会である機能水学会の見解を確認し、皆様に情報発信を行ってまいります。

以上、現時点での弊社の見解をまとめ、お伝えさせていただきました。

これからも、各機関からの情報を収集・精査に努め、迅速かつ誠実に、皆様に発信してまいります。

今後とも、弊社および弊社製品クリーンファイターを、よろしくお願い致します。